



DATA in 九州

九州の身近なデータを
ワンポイント解説する
コーナーです。

今月の注目データ

今月は「アスパラガスの収穫量」と「釣り人口の割合」です。



アスパラガスの収穫量

検索



釣り人口の割合

検索



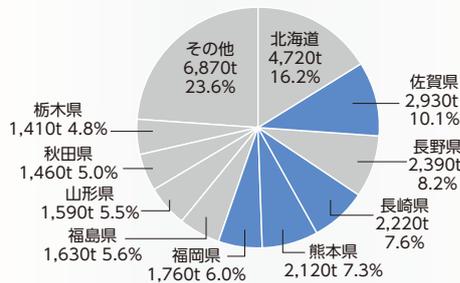
アスパラガスの収穫量

春になると地下の栄養分をたっぷり吸収したアスパラガスの新芽(春芽)が芽吹きます。そんなアスパラガスの年間収穫量を都道府県別にみると、佐賀県が北海道に次ぐ第2位となっているほか、九州の県が上位を占めています。

九州で収穫されるアスパラガスはその栽培方法に特徴があります。北海道や収穫量第3位の長野県では、年に一回春芽だけを収穫する「露地栽培」が中心であるのに対し、九州ではビニールハウスを利用した「半促成栽培」と呼ばれる方法で栽培しています。この「半促成栽培」方法では、春先に春芽を収穫する際に一部の芽を残し、その芽が春から夏にかけて日光等を受けて栄養を蓄えることで、新たな芽吹き(夏芽)を促して、それを10月まで収穫します。この「半促成栽培」は佐賀県が開発した栽培方法で、栽培面積当たりの収量が「露地栽培」の8~10倍にもなるほど生産効率が高いことから、九州近県にも普及しており、佐賀県ではアスパラガスへの新規参入者も相次いでいます。

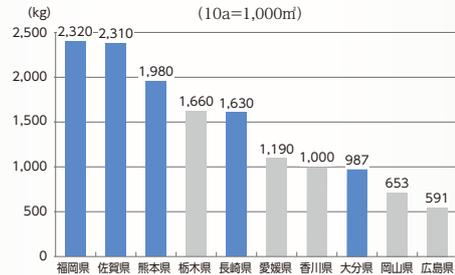
今後こうした生産効率向上に向けた工夫が他の品目にも広がることで、農業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加など、農業の抱える様々な問題の解決策の一つとなることが期待されます。

アスパラガスの収穫量



(出所:農林水産省統計「平成27年産野菜生産出荷統計」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)

アスパラガスの10a当たりの収量



釣り人口の割合

春の行楽シーズンを迎え、これから屋外レジャーを楽しまれる方も多いと思います。その屋外レジャーの一つである「釣り」人口の割合(※)を都道府県別に見てみると、鹿児島県を筆頭に、長崎県や熊本県が上位を占めており、その他の九州各県も全て全国平均以上となっています。

良質な釣り場が多い九州には昔から釣り愛好家が多く、特に鹿児島県は、薩摩・大隅半島地区だけでなく、奄美群島やトカラ列島、大隅諸島、長島、甌島などの離島地区も含めた、県全域で釣りが盛んで、釣りを目当てにした観光客も多く訪れています。

釣り人口は全国的に減少傾向が続いていましたが、足元ではわずかながら反転しており、また近年急拡大しているインバウンド観光でも釣り等の体験型観光に対するニーズが高まってきています。今後、九州の豊富な“海の恵み”を活かした観光振興・地域活性化が期待されます。

(※)過去1年間に「釣り」をした人の割合(10歳以上)

釣り人口の割合

順位	都道府県名	割合 (%)
1	鹿児島県	12.7
2	広島県	12.2
3	長崎県	12.1
4	愛媛県	11.9
5	熊本県	11.8
6	島根県	11.6
7	高知県	11.5
8	岡山県	10.8
9	和歌山県	10.7
10	山口県	10.6
12	宮崎県	10.4
13	大分県	9.9
22	佐賀県	8.8
26	福岡県	8.1
	全国	8.1

(出所:総務省「社会生活基本調査(平成23年)」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)

福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 持ち直している

福岡県の景気は、生産活動において持ち直しの動きが続いているほか、個人消費についても底堅い状況にある等、総じてみると持ち直しています。

生産活動は、年末休みで工場稼働日が減少した輸送機械は低下したものの、引き続き高い水準を維持しており、個人消費についても、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。また、住宅建設及び公共工事も2ヵ月連続で前年を上回りました。

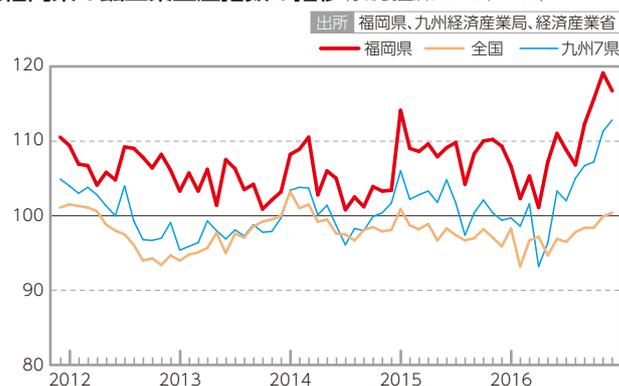
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 持ち直しの動きが続いている

12月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は116.7と前月比2.0%低下しました。

年末休みで工場稼働日が減少したことから輸送機械が低下したものの、生産全体としては引き続き高い水準を維持しており、持ち直しの動きが続いています。

■福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)



2.個人消費 | 底堅く推移している

1月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比0.3%減の575億円となりました。

主力の飲食料品は前年を下回ったものの、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、個人消費は底堅く推移しています。

■福岡県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





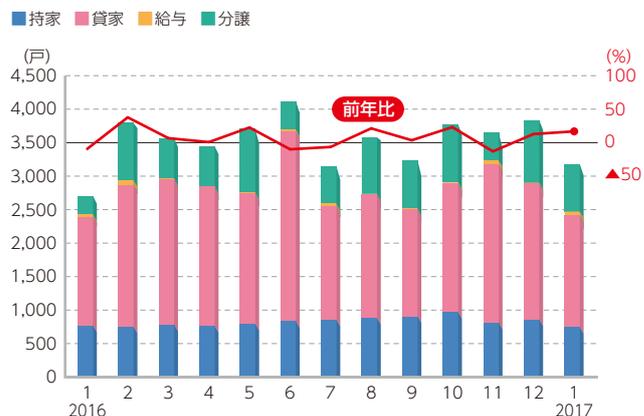
3.住宅建設 | 2ヵ月連続で前年を上回る

1月の新設住宅着工戸数は、前年同月比17.6%増の3,202戸となりました。

「持家」「分譲(戸建)」が前年を下回ったものの、「貸家」「給与」「分譲(マンション)」が前年を上回り、全体でも2ヵ月連続で前年を上回りました。

福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



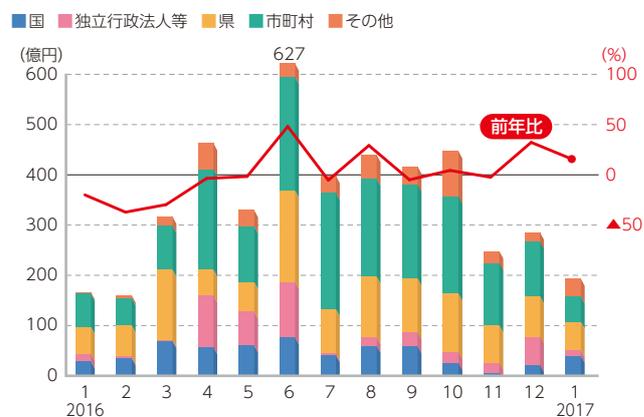
4.公共工事 | 2ヵ月連続で前年を上回る

1月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比13.3%増の503件、金額が同16.2%増の195億円となりました。

発注者別では、浄水場建築工事の大型案件があった「その他公共的団体」が前年を大きく上回り、全体でも2ヵ月連続で前年を上回りました。

福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに前年を下回る

2月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比3.7%減の26件、負債総額は同42.5%減の約19億円となりました。

薬局と建設業でそれぞれ約2億円の倒産が発生しましたが、倒産件数、負債総額ともに前年を下回りました。

福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 熊本地震からの復興が続くなかで、緩やかに回復している

熊本県の景気は、熊本地震からの復興が続くなかで、緩やかに回復しています。

生産活動は、特殊産業機械が増産となったはん用・生産用機械が上昇する等、回復の動きが続いており、個人消費についても、地震からの復興需要等を背景に持ち直しの動きが続いています。また、住宅建設及び公共工事も復興需要等を背景に前年を上回る状況が続いています。

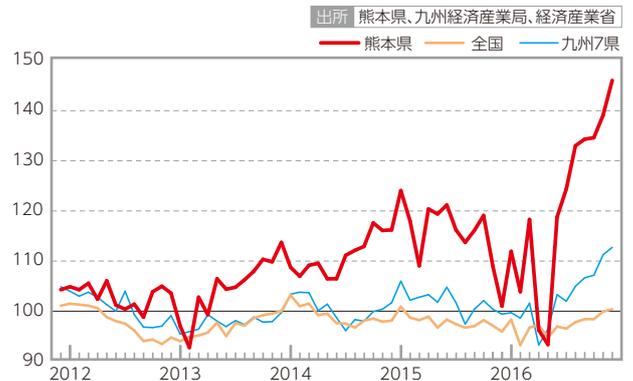
(諸限 あきこ)

1.生産活動 | 回復の動きが続いている

12月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は146.3と前月比5.0%上昇しました。

主要業種では、特殊産業機械が増産となったはん用・生産用機械や、飲料の生産が増加した食料品・たばこが上昇する等、熊本地震からの挽回生産をはじめとした復興関連の動き等を背景に、生産は回復の動きが続いています。

■熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)



2.個人消費 | 持ち直しの動きが続いている

1月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比4.2%増の141億円となりました。

熊本地震からの復興需要等を背景に、主力の衣料品が好調だった他、化粧品や宝飾品などの高額品も前年を上回る等、個人消費は持ち直しの動きが続いています。

■熊本県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



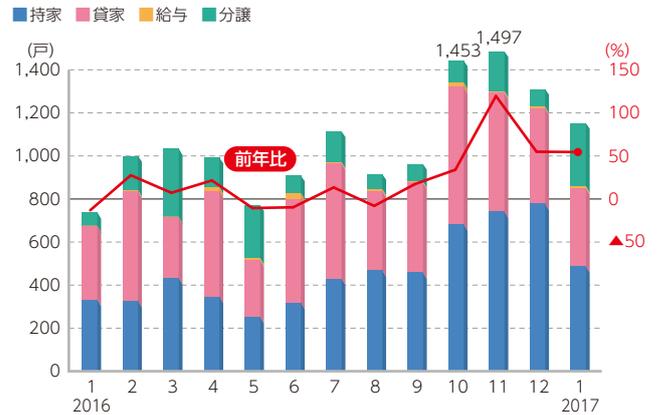
3.住宅建設 | 5ヵ月連続で前年を上回る

1月の新設住宅着工戸数は、前年同月比56.0%増の1,161戸となりました。

「分譲(戸建)」を除く全ての項目で前年を上回り、全体でも5ヵ月連続で前年を上回りました。

■ 熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



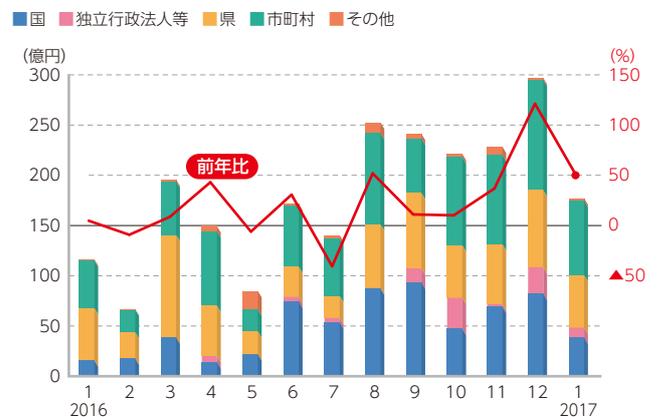
4.公共工事 | 6ヵ月連続で前年を上回る

1月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比33.2%増の510件、金額が同52.2%増の179億円となりました。

橋復旧工事があった「国」や、トンネル新設工事の大型案件があった「市町村」等が前年を上回り、全体でも6ヵ月連続で前年を上回りました。

■ 熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



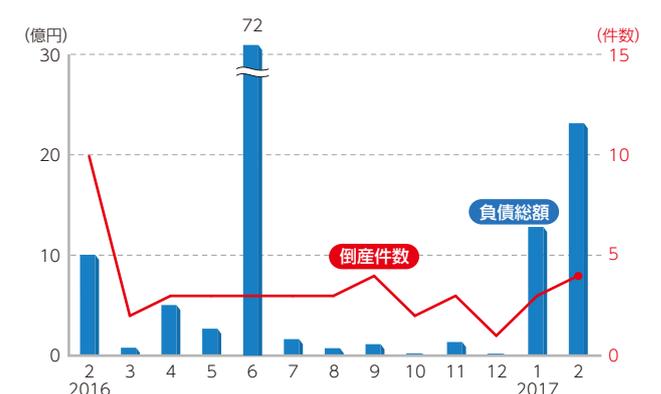
5.企業倒産 | 2ヵ月連続で前年を上回る

2月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比60.0%減の4件、負債総額は約23億円となりました。

ホテルで約19億円の大型倒産が発生するなど、負債総額は前年を上回りました。

■ 熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 底堅く推移している

長崎県の景気は、個人消費が弱いものの、生産活動は持ち直している状況にある等、総じてみると底堅く推移しています。

個人消費は主力の衣料品や飲食料品が前年を下回る等、弱含んでおり、住宅建設についても2ヵ月ぶりに前年を下回りました。一方で、生産活動は修繕船が増産となった輸送機械が上昇する等、持ち直しの動きがみられるほか、公共工事についても前年を上回る状況が続いています。

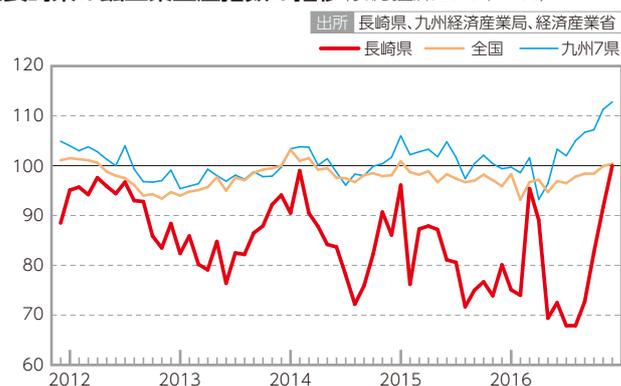
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 持ち直しの動きがみられる

12月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は100.0と前月比9.2%上昇しました。

主要業種では、修繕船が増産となった輸送機械や、ボイラの生産が増加したはん用・生産用機械が上昇する等、生産は持ち直しの動きがみられます。

■長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)



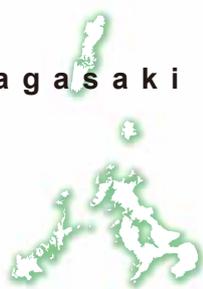
2.個人消費 | 弱含んでいる

1月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比3.3%減の89億円となりました。

主力の衣料品や飲食料品が前年を下回る等、個人消費は弱含んでいます。

■長崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





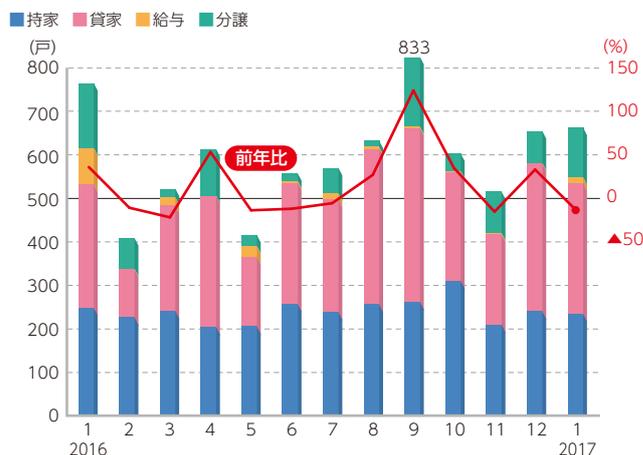
3.住宅建設 | 2カ月ぶりに前年を下回る

1月の新設住宅着工戸数は、前年同月比13.3%減の669戸となりました。

「貸家」「分譲(戸建)」が前年を上回ったものの、「持家」「給与」「分譲(マンション)」が前年を下回り、全体でも2カ月ぶりに前年を下回りました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



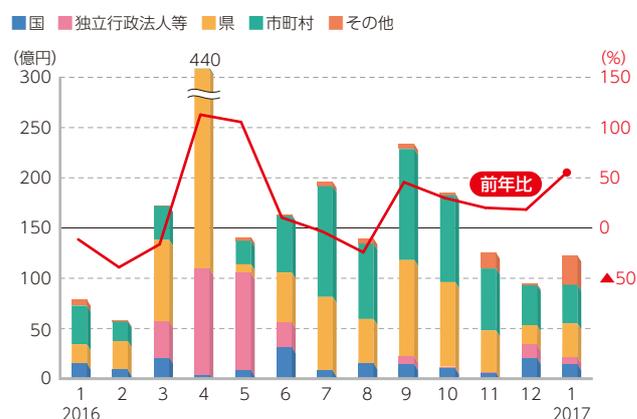
4.公共工事 | 5カ月連続で前年を上回る

1月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比8.8%増の296件、金額が同55.9%増の124億円となりました。

発注者別では、橋梁工事があった「独立行政法人等」や、ビル建設工事の大型案件があった「その他公共的団体」等が前年を上回り、全体でも5カ月連続で前年を上回りました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



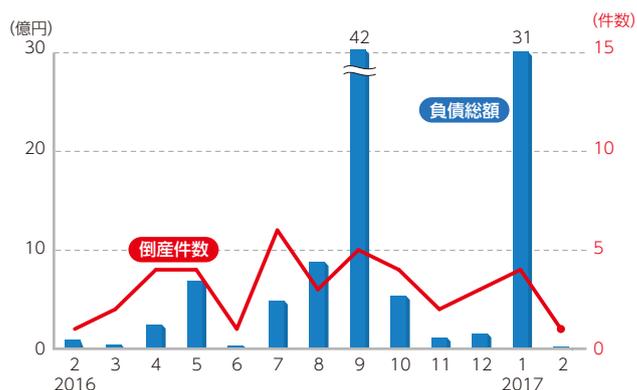
5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制

2月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同数の1件、負債総額は前年同月比77.5%減の2千万円となりました。

倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制されています。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 底堅く推移している

佐賀県の景気は、個人消費が弱いものの、生産活動は持ち直している状況にある等、総じてみると底堅く推移しています。

個人消費は主力の衣料品が前年を下回る等、弱含んでいます。一方で、生産活動は土木建設機械が増産となった一般機械が上昇する等、持ち直しの動きがみられます。また、住宅建設及び公共工事も前年を上回りました。

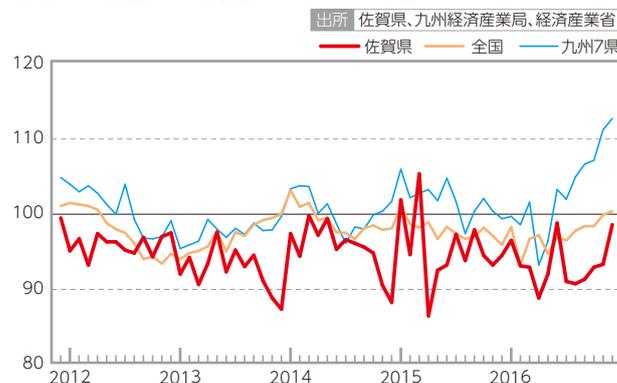
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 持ち直しの動きがみられる

12月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は98.6と前月比5.7%上昇しました。

主要業種では、土木建設機械が増産となった一般機械や、塗料の生産が増加した化学が上昇する等、生産は持ち直しの動きがみられます。

■佐賀県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

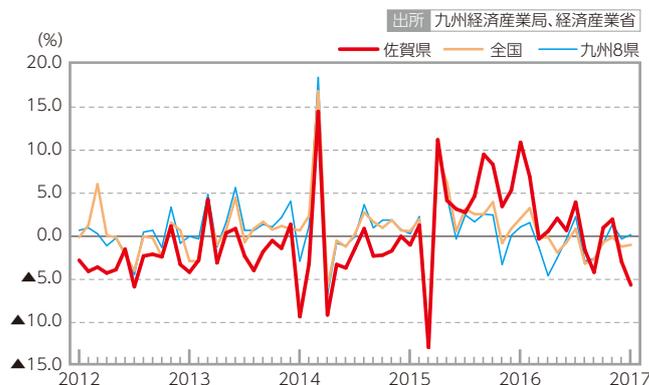


2.個人消費 | 弱含んでいる

1月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比5.7%減の54億円となりました。

主力の衣料品が振るわなかった他、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を下回る等、個人消費は弱含んでいます。

■佐賀県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





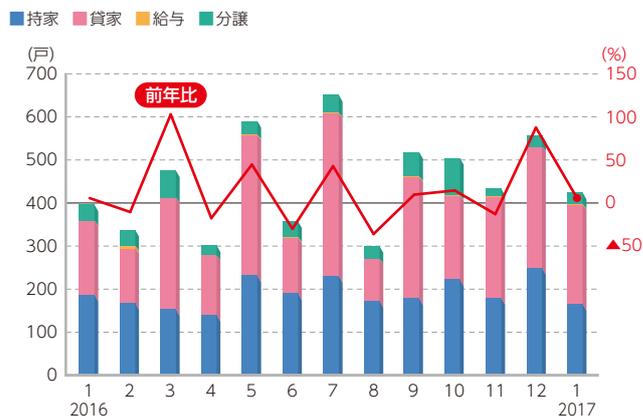
3.住宅建設 | 2カ月連続で前年を上回る

1月の新設住宅着工戸数は、前年同月比7.0%増の427戸となりました。

「持家」「分譲(戸建)」が前年を下回ったものの、「貸家」「給与」が前年を上回り、全体でも2カ月連続で前年を上回りました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



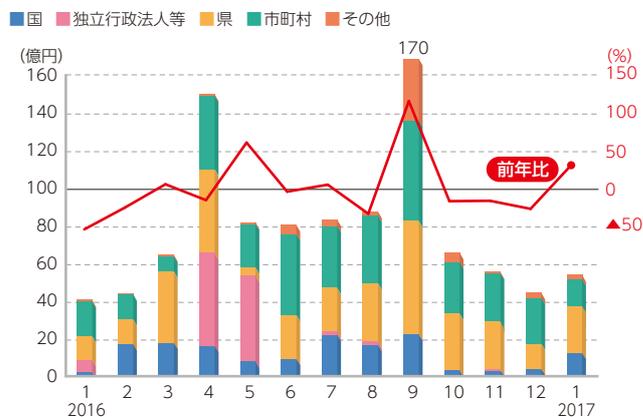
4.公共工事 | 4カ月ぶりに前年を上回る

1月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比7.2%増の194件、金額が同32.7%増の54億円となりました。

発注者別では、庁舎建築工事があった「国」や、道路改良工事があった「県」等が前年を上回り、全体でも4カ月ぶりに前年を上回りました。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



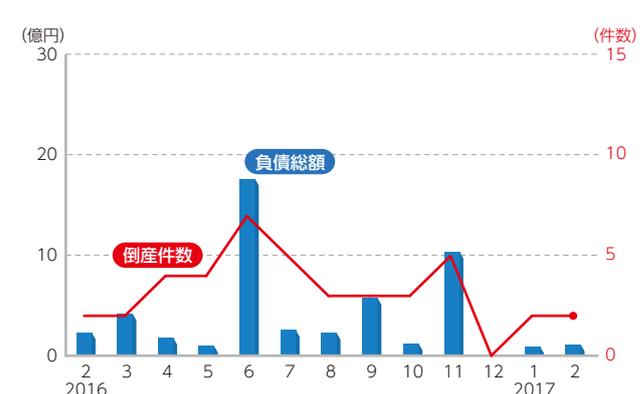
5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制

2月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同数の2件、負債総額は前年同月比52.6%減の約1億円となりました。

倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制されています。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



大分県の最近の経済動向

大分県の景気 | 底堅く推移している

大分県の景気は、個人消費に弱さがみられるものの、生産活動は底堅い状況にある等、総じてみると底堅く推移しています。

個人消費は、主力の衣料品が前年を下回る等、弱含みの兆しがみられます。一方で、生産活動は軽自動車が増産となった輸送機械が上昇する等、底堅く推移しています。また、住宅建設及び公共工事も前年を上回る状況が続いています。

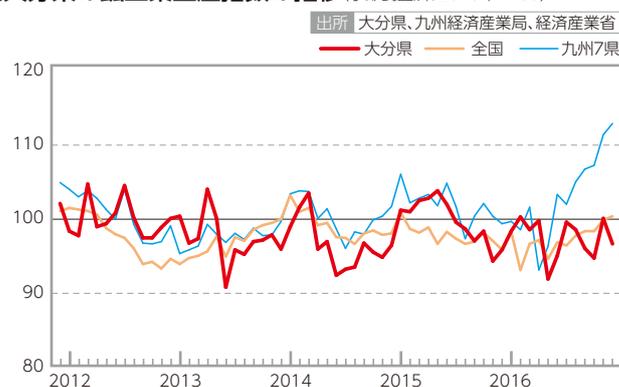
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 底堅く推移している

12月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は96.7と前月比3.4%低下しました。

主要業種では、開閉制御装置の生産が減少した電気・情報通信機械は低下したものの、軽自動車が増産となった輸送機械が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■大分県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)



2.個人消費 | 弱含みの兆しがみられる

1月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比1.9%減の92億円となりました。

化粧品や宝飾品などの高額品は前年を上回ったものの、主力の衣料品が前年を下回る等、個人消費は弱含みの兆しがみられます。

■大分県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





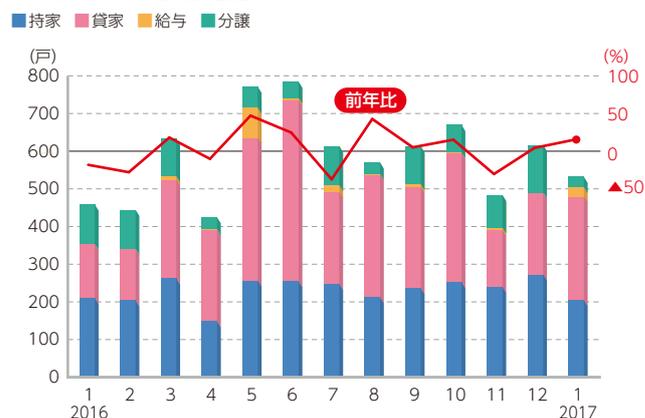
3.住宅建設 | 2ヵ月連続で前年を上回る

1月の新設住宅着工戸数は、前年同月比16.0%増の536戸となりました。

「持家」「分譲(マンション)」が前年を下回ったものの、「貸家」「給与」が前年を上回り、全体でも2ヵ月連続で前年を上回りました。

■大分県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



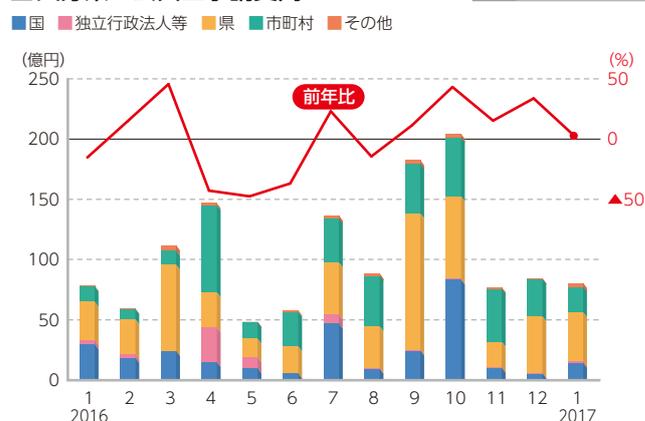
4.公共工事 | 5ヵ月連続で前年を上回る

1月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比27.4%増の391件、金額が同2.9%増の81億円となりました。

発注者別では、陸上競技場改修工事があった「市町村」や、短大校舎増築工事があった「その他公共的団体」等が前年を上回り、全体でも5ヵ月連続で前年を上回りました。

■大分県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



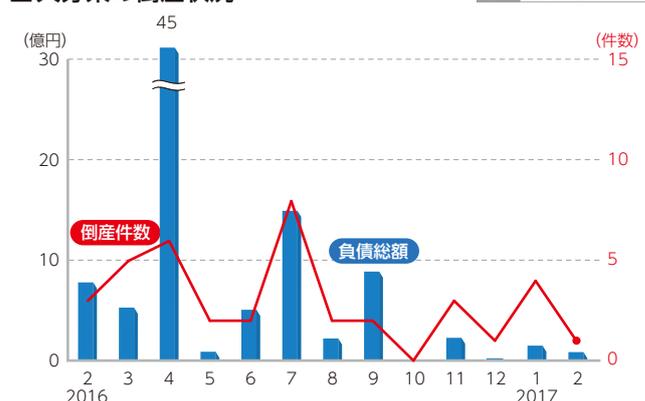
5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制

2月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比66.7%減の1件、負債総額は同89.2%減の約9千万円となりました。

倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制されています。

■大分県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



宮崎県の最近の経済動向

宮崎県の景気 | 弱含みの兆しがみられる

宮崎県の景気は、個人消費が底堅く推移しているものの、生産活動に弱さがみられる等、総じてみると弱含みの兆しがみられます。

個人消費は化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、底堅く推移しており、住宅建設についても前年を上回る状況が続いています。一方で、生産活動は電子部品・デバイスが低下する等、弱含みの兆しがみられるほか、公共工事についても2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

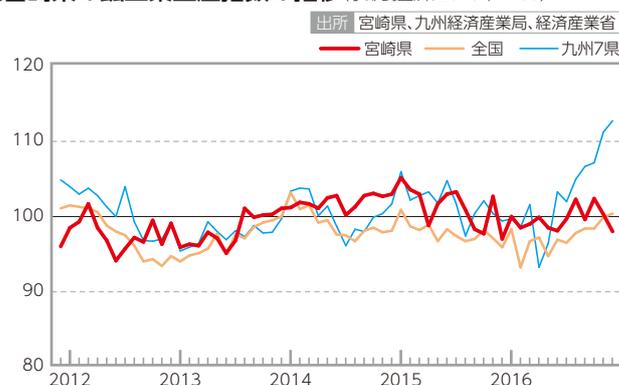
(諸隈 あきこ)

1. 生産活動 | 弱含みの兆しがみられる

12月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は98.0と前月比2.3%低下しました。

主要業種では、はん用・生産用・業務用機械は上昇したものの、電子部品・デバイスが低下する等、生産は弱含みの兆しがみられます。

■宮崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)



2. 個人消費 | 底堅く推移している

1月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比1.3%増の60億円となりました。

主力の衣料品は前年を下回ったものの、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を大きく上回る等、個人消費は底堅く推移しています。

■宮崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





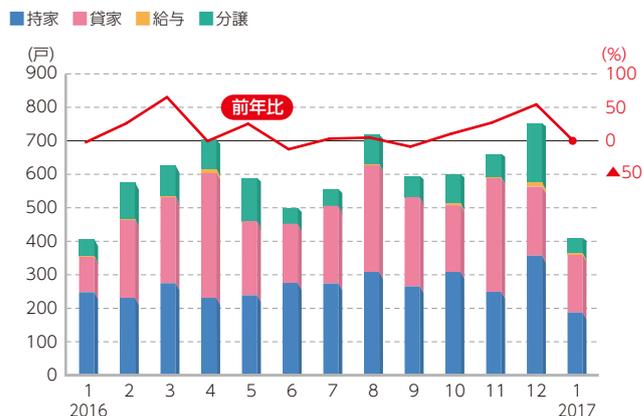
3.住宅建設 | 4ヵ月連続で前年を上回る

1月の新設住宅着工戸数は、前年同月比1.0%増の413戸となりました。

「持家」「分譲(戸建)」が前年を下回ったものの、「貸家」「給与」が前年を上回り、全体でも4ヵ月連続で前年を上回りました。

■宮崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



4.公共工事 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

1月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比31.9%増の405件、金額が同28.8%減の79億円となりました。

発注者別では、公園整備工事があった「市町村」等が前年を上回りましたが、「国」「独立行政法人等」が前年を下回り、全体でも2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■宮崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制

2月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が3件、負債総額は約9千万円となりました。

倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制されています。

■宮崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



鹿児島県の最近の経済動向

鹿児島県の景気 | 底堅く推移している

鹿児島県の景気は、主要指標である生産活動と個人消費がともに底堅い状況にある等、総じて底堅く推移しています。

住宅建設は3カ月連続で前年を下回ったものの、生産活動は窯業・土石製品が上昇する等、底堅く推移しており、個人消費についても、主力の衣料品が前年を上回る等、底堅く推移しています。また、公共工事も2カ月ぶりに前年を上回りました。

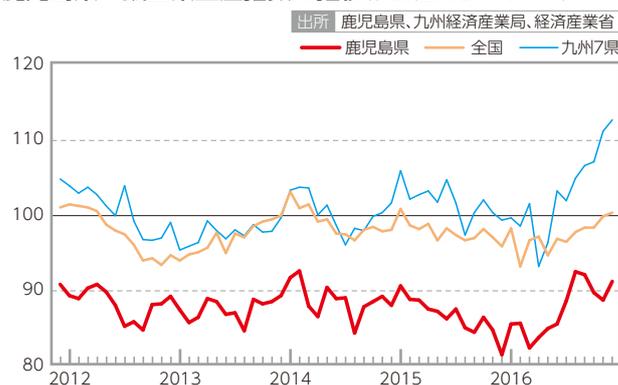
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 底堅く推移している

12月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は91.2と前月比2.8%上昇しました。

主要業種では、食料品が低下したものの、窯業・土石製品が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■鹿児島県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)



2.個人消費 | 底堅く推移している

1月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比1.1%増の125億円となりました。

主力の衣料品が好調だった他、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、個人消費は底堅く推移しています。

■鹿児島県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





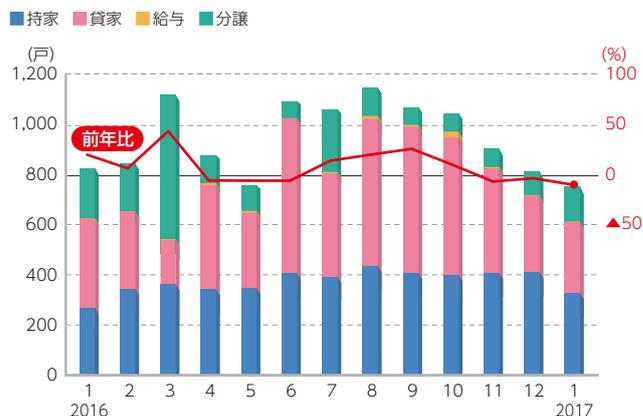
3.住宅建設 | 3カ月連続で前年を下回る

1月の新設住宅着工戸数は、前年同月比9.3%減の754戸となりました。

「持家」「分譲(戸建)」が前年を上回ったものの、「貸家」「分譲(マンション)」が前年を下回り、全体でも3カ月連続で前年を下回りました。

鹿児島県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



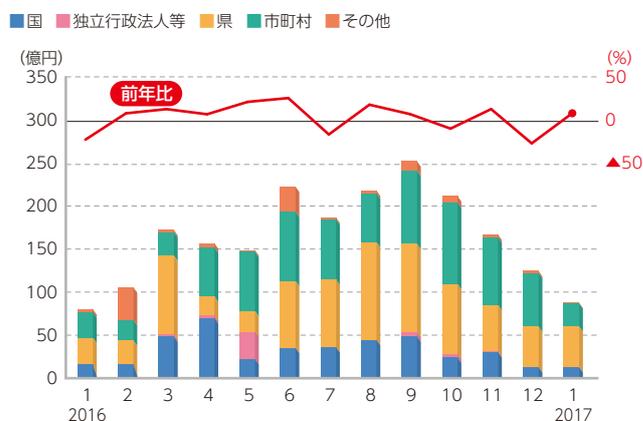
4.公共工事 | 2カ月ぶりに前年を上回る

1月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比6.5%増の407件、金額が同9.8%増の89億円となりました。

発注者別では、道路整備工事があった「県」と「独立行政法人等」が前年を上回り、全体でも2カ月ぶりに前年を上回りました。

鹿児島県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 2カ月ぶりに前年を上回る

2月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同数の7件、負債総額は約84億円となりました。

ゴルフ場で79億円の大型倒産が発生したほか、菓子製造販売業で約2億円の倒産が発生するなど、負債総額は前年を上回りました。

鹿児島県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

